

# 道教思想(三)

幸田露伴

MILK TEA\* vol.6 no.6

## 道教思想（三）

幸田露伴

しかし元来、老子は道家とされているが、厳しく論ずれば、老子は李氏と伝えられているも、李氏は吏りに出でて、吏は理に通じ、理官は後に展開して法家者流となったものである。

そのような姓氏の意義論はべつとして、老子の思想は法家臭あひいところを持っているものである。この見は古来の考察と相あひ容れぬものがあるから、人は疑うであろうし、これを解せし

むるには別に一段の論議を要することであるから、今これを  
 なすの暇いとまはないが、法家者流に疑いなき韓非子になぜ「解老  
 の篇」があり、政治家者流たぐに疑いなき筓子になぜ老子と同様  
 なるいわゆる道家臭くき議論があるかに照てらしても、眼のある  
 ものはおのずから疑いを発し、かつ、おのずから解を立つる  
 ことのできるものである。老子風の人であり、僊人風せんじんの人で  
 あって、『莊子』などに数々称された許由きよゆうは、『莊子』を善よく  
 も読まぬ人には、ただああいう人として受け取られているが、  
 あれもじつは理官であり、展開したら法家者流になるべき人  
 で、いや、後世には牢獄の神として拜ひつされた臯陶こうたう、堯舜ぎょうしんこ

るの実際政治にあたった皐陶その人なのである。大権の確立  
および大権世襲のなつたのは、洪水によって天下に大功を立  
てた夏禹かうからのことで、その前の堯舜すごろは今日のいわゆる  
社会主義のごとき主義が一世を統べ治めていたのであると想おも  
いてけだし過誤かごでない。その時代の理官りくわんで皐陶はあつたので  
ある。夏から殷、周となつて、帝王政治はしだいに確立し精  
密になり、堯舜も帝王政治の側にひっぱりこまれたが、事実  
は夏禹以後の王政治下の世と、帝堯・帝舜ごろの社会主義的  
治下の世とは大いなる相違を存したのである。専制王政の世  
でもその治が正しかったときは論もなかったが、その弊が現

われ利がなかったときは、人民はいつも社会主義的色彩のゆたかであった堯舜時代を憧憬しやうけいした。これがシナの長い長い歴史に堯舜謳歌おうかの絶えぬわけたで、王政主義の周公・孔子の儒教的範疇はんちゆう以外に、もすこし自然に近い、原始的自由の多い世界を欲する感情とその理論との、どの代にも滲しみ出していることを蔽おおえない所以ゆえんであった。

老子は社会主義的色彩をおび、原始的治政の賛嘆者である。すなわち彼は専制王政以前の社会における理官、換言すればのちの法官ではない前身的法官、——規則と違規者に対する刑罰とをもって世にのぞむ法官ではなくて、きわめて寛大な

る自然的の指導地位に立つ管理者、のその加束縛的そくばくでない精神および無為し的なる施為いをもつて、社会の幸福と民庶みんじよの道德との源泉であるとしたもので、その思想は決して老子が発明したもので何でもなく、専制王政以前に実在したものの伝統で、そして漠焉ばくえんたる太古から、二十余代の変革を経た今日でもなおシナ民族の血の中に流れていることの争えないものである。

ただ、さような平等的の古代でも人と人と相争うことは生ずる。それが獄である。獄は初義は牢獄ではない、訟獄しょうごである。その訟獄を解き裁くのは理官である。世がくだって牛を

入れておくような堅固なところへ不服の暴者をつなぐようになつて牢獄なの成るにおよび、その理官はついに法家となり、そこで皋陶カウカウは獄神となつたのである。それからまた王政以前の政治の賛嘆者の末が、流れて法家者流となつた。王道衰えおとろたときに立つて一時を拯すくうた笊しやく子こに、老子と同じような意味の見えるのも、同じ王政以前の理官的の時代の伝統が寓在していたからである。このことを看取せぬと法家と道家の関係、笊しやく子こが『班史』、『漢書』のことに道家に収めてある理由も合点がゆかぬのである。それからまた秦のあとを受けて功をおさめた前漢の政治家に老子派の人の多い所以ゆえんも解けぬのであ

る。

そこで張陵ちやうりやうの上に返るが、張の教えは前に言ったごとく老

子を奉じていても、『道德』五千言のどこにもないようになっ

とを言ったり為なしたりしている。ただ老子を看板にして人を

ぎまん

欺瞞ぎまんしたように見えるが、陵の起こったときは後漢末の王政

おこな

はなはだ衰えてその弊のみ現われ、杓子定規しやくしじやうぎの裏に私曲のひ

こんばい

そんでいる世で、人民は困憊こんばいして時代に対し厭悪えんおの念をいだ

そぼく

いていたのであり、また地理的に蜀・漢中などは素樸そぼくな人気

のところであった。そこへ張が起こって、その唱道したところ

かんり

ろは、人間の官吏かんりらを見無視して三官というものに禍福かふくの鍵を



\*次週予告

第六卷 第七号

青空文庫ものがたり 野口英司・宮川典子

第六卷 第七号は、

二〇一三年九月七日(土) 発行予定です。

クリエイティブ・コモンズ 非営利ライセンス

PDFマガジン 週刊ミルクティー\*第六卷 第六号

道教思想 (三) 幸田露伴

発行：二〇一三年八月三十一日(土)

編集：しだひろし / PoorBook G3:99

<http://www33.atwiki.jp/asterisk99/>

出版：\*99 出版

F 994-0024 山形県天童市鎌田二丁目

アパートメントヨロア-1011